

CASBEE-建築(新築)2024年版
 (仮称)京都生活協同組合 山城支部 移転新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2024年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.34	-	-	3.0
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音	-	3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	-	3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能	-	3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	-	-	
1.3 吸音	-	3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御	-	3.0	0.50	-	-	
1 室温	-	3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能	-	3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性	-	3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御	-	3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式	-	3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.5	0.25	-	-	2.5
3.1 昼光利用	-	3.0	0.30	-	-	
1 昼光率	-	3.0	0.60	-	-	
2 方位別開口	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備	-	3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策	-	1.0	0.30	-	-	
1 昼光制御	-	1.0	1.00	-	-	
3.3 照度	照度500lx以上1000lx以下	4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御	-	3.0	0.25	-	-	
4 空気環境		3.8	0.25	-	-	3.8
4.1 発生源対策	-	4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	-	-	
4.2 換気	-	3.3	0.30	-	-	
1 換気量	換気量1.2倍以上	4.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能	-	3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理	-	4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視	-	3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	建物本体とは別に喫煙スペースを設けている	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		3.1	0.40	-	-	3.1
1.1 機能性・使いやすさ	-	3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性	-	3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応	-	3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画	-	3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性	-	3.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	事務室の天井高さ2.7m以上	4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース	-	3.0	0.33	-	-	
3 内装計画	-	3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理	-	3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	-	3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振	-	3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	耐震性能25%増	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	-	3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニールクロス耐用年数20年	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給湯・給排水管:B、通気管:Aを採用 Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性	-	2.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	-	2.0	0.20	-	-	
3 電気設備	-	1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-	

	5	通信・情報設備	--	1.0	0.20		-	
--	---	---------	----	-----	------	--	---	--

3	対応性・更新性		2.8	0.30	-	-	2.8
3.1	空間のゆとり		2.6	0.30	-	-	
1	1 階高のゆとり	階高3.22m	1.0	0.60	-	-	
2	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.095	5.0	0.40	-	-	
3.2	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
3.3	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
2	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
3	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
4	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
5	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
6	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	Q3 室外環境(敷地内)		-	0.36	-	-	1.8
1	1 生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	2 まちなみ・景観への配慮	-	2.0	0.40	-	-	2.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮	-	2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR	LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR1	LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.3
1	1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.7	5.0	0.20	-	-	5.0
2	2 自然エネルギー利用(直接利用)	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	3 設備システムの高効率化	BEI=0.09	2.9	0.50	-	-	2.9
	集合住宅以外の評価		2.9	-	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4	4 効率的運用に向けた取組み		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	4.1 モニタリング	-	3.0	0.40	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.40	-	-	
4.3	4.3 非化石エネルギーの導入の拡大	-	3.0	0.10	-	-	
4.4	4.4 コミッショニングの推進	-	3.0	0.10	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
1	1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	1.1 節水	-	3.0	0.40	-	-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60	-	-	
1	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
2	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	2 非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60	-	-	3.1
2.1	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が安易に分解できる	4.0	0.20	-	-	
3	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避	-	3.0	0.70	-	-	
1	1 消火剤	-	-	-	-	-	
2	2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	
3	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
1	1 地球温暖化への配慮	CO2排出率62%	4.5	0.33	-	-	4.5
2	2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
2.2	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
1	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
2	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	3 交通負荷抑制	適切な駐車場・駐輪場・荷ぼどき駐車場の確保	4.0	0.25	-	-	
4	4 廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
3	3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	1 騒音	-	3.0	0.50	-	-	
2	2 振動	-	3.0	0.50	-	-	
3	3 悪臭	-	-	-	-	-	
3.2	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
2	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
3	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
3.3	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策がガイドラインのチェックリストの過半を満たし、広告照明の	5.0	0.70	-	-	
2	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策が「トライン」のチェックリストの過半を満たし、広告照明の	5.0	0.70		-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	二	3.0	0.30		-

CASBEE-建築(新築)2024年版

(仮称)京都市生活協同組合 山城支部 移転新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0	-	○	-	-	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	3.0	-	-	-	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0	-	2.0	-	1.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用(直接利用)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4.1.4 コミッショニングの推進	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0	-	1.0	1.0	2.0	3.0	-	-	-	3.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0	-	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうらみに与える光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH	
昼光率	0.0%				
自然換気有効開口面積率	0.0%				

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷量のゆとり

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
コンセント容量	0.0 VA/㎡					
天井高	0 m					
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%			
想定耐用年数	0 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	20 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	0 m					
壁長さ比率	0.0%					
床荷重	- N/m ²					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外植緑化指数	#DIV/0!	建物緑化指数	0%				
空地率	20%	水平投影面積率	10%	地表面対策面積率	0%	舗装面積率	60%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用(直接利用)

BPI/BPI _m	0.70	断熱等性能等級	0 相当				
影響範囲の割合	0.0%	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%		
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%		
		太陽光	163.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kWh
BEI/BEI _m	再エネ有	0.09	無	0.09	オフサイト再エネ有	-	〇〇GJ/年
一次エネルギー削減率	再エネ有	#####	無	#####			-

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%				
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
使用比率	0.0%				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	55% 隣接間隔指標Rw 3.87								
地表面対策面積率	0.0%		屋根面対策面積率	#DIV/0!	外壁面対策面積率	#DIV/0!			
見付面積Sb	380㎡	卓球風向と直交する最大敷地幅Wa	68.93 m	基準高さHb		9.99 m			
緑地	㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡